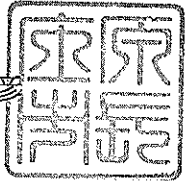




平成19年4月27日

国土交通省道路局長 様

庄原市長 滝口季彦



中期計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありましたことについて、別紙のとおり回答します。

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

本市は、平成17年3月31日に庄原市・西城町・東城町・口和町・高野町・比和町及び総領町の合併により、全国自治体の中で11番目（平成19年1月末現在）となる広大な区域面積1,246.6平方キロメートルの「新・庄原市」として誕生しました。

めざすべき将来像を「“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市～人と地域が輝く、美しい日本のふるさと～」とし、一体感の醸成と一体的な発展を図るとともに、安全・安心のまちづくりに取り組んでおります。

しかし、極めて広大な区域の中に旧市町の市街地が分散し、さらに集落・住居が点在する現状から、移動手段を自動車に依存せざるを得ない状況にあり、市民生活において道路網の整備が重要な課題となっております。

本市の道路網は、高速道路として、昭和53年に開通した中国縦貫自動車道に続き、中国横断自動車道尾道松江線、地域高規格道路江府三次道路の整備が進められており、また、広域基幹道路として、国道4路線、県道45路線が整備されております。加えて数多くの市道・生活道が所在しますが、未改良道路や交通安全施設等を必要とする箇所も多く、生活の安全確保や利便性の向上、都市・地域間の交流促進、合併後の一体感醸成、全市的な発展に向けて、その改良整備が急がれております。

とりわけ中国地方のほぼ中央に位置し、広大な市域を有する本市にとっては、人・物・情報のネットワークや都市間交流の基盤として広域連携軸に位置づけられる高速道路と隣接市町を結ぶ主要国県道、さらには市中心部から各支所及び各支所間を結ぶ30分道路網ネットワークの整備促進が急務となっております。

また、高次医療に伴う医療アクセスの整備、自然災害等に対する危機管理体制の構築、老朽化が顕著な道路ストックの長寿命化、北部雪寒地域ならではの除雪経費負担など、さまざまな課題解決を図る道路政策を強く望むものであります。

本市に限らず、中山間地域の深刻な共通課題として、人口の減少、基幹産業（農林業）の衰退、財政状況の悪化が指摘され、さらなる地域活力の低下が危惧されております。そうした中山間地域の固有課題、合併による特異な実情等も踏まえられ、都市偏重ではなく「均衡ある美しい日本」の建設、地方・地域の活性化に資する道路政策の視点をもって重点的な推進をお願いいたします。

庄原市において今後必要とする道路整備等

- 1 中心部から各支所や支所間を結ぶ30分道路網ネットワーク建設促進路線
 - (1) 高野・比和・庄原・総領を結ぶ国道432号
 - (2) 庄原・西城を結ぶ国道183号
 - (3) 庄原・東城を結ぶ主要地方道庄原東城線
 - (4) 庄原・口和を結ぶ主要地方道庄原作木線
 - (5) 東城・西城を結ぶ国道314号
 - (6) 西城・比和を結ぶ主要地方道西城比和線
 - (7) 高野・口和を結ぶ主要地方道三次高野線
 - (8) 総領・東城を結ぶ一般県道中領家庄原線

- 2 中山間地域に適合する道路整備水準の確保
 - (1) 1.5車線改良（ローカルルールに基づく改良）

- 3 高次医療アクセスや広域連携軸路線
 - (1) 中国横断自動車道尾道松江線
 - (2) 地域高規格道路江府三次線

- 4 既存ストックの長寿命化（H18年度末）
 - (1) 路線数 1,840路線
 - (2) 路線延長 1,532km
 - (3) 橋梁数 1,084橋

- 5 北部雪寒地域の除雪経費補助